

つくば Science Edge アイデアコンテスト

スタートアップ チェックリスト

このリストの位置づけについて

つくば Science Edge アイデアコンテストに応募いただく皆さんに、発表要旨の記述や実際の発表内容を構成いただく際の参考にしていただくためのチェックリストです。

大きく7項目に分かれていますが、必ずしもすべての項目を満たす内容にする必要はありませんし、アイデアから完成された研究成果までの段階によっては、そもそも対応していないものもあるからです。

ですが、専門家の審査におけるポイントにもなっていますので、ご自身の応募内容に対応したものはできる限りもろさず反映するように心がけてください。なお、実際のご自身の研究やアイデアの発展の過程においても、リストの内容を踏まえた考え方、進め方がよいと考えています。

このチェックリストの構成としては、問題解決への独創的なアイデアにとって必要な点を最初の方に配置しており、その後に研究成果の完成度を高めるための、さらには社会で実現するための観点を置いています。最後の項目は提案評価者だけの観点ですが、ご自身の応募内容に照らして関りがあるか一度考えてはどうでしょう。

なお、以下のSDGs17ゴールいずれかに関心があり、応募課題の目的がそれに関連する場合には、その点も意識してまとめると良いでしょう。提案課題の社会的価値の大きさを、とても具体的に説得できます。



ロゴ：国連広報センター作成

はじめに

「豊かな創造力と先見性のもとに新しいアイデアを創造する能力(creative mind)」

創造力は個性的であり、未知への挑戦です。この創造力こそ改革・進歩の原動力となって、人類文明を発展させ、今後も発展させるのです。皆さんのような若い方に、創造力をおおいに伸ばしていただきたいと思います。(つくば Science Edge 公式サイトより)

知的好奇心に裏付けされた探求力を奮って挑戦課題を発見し、解決に向かって独創的なアイデアを創造する行為は、皆さんにとってとても興奮する、幸せな時間だと思います。皆さんの個性的な想像力が独創的なものであるかどうかは、何かに気付いて“なぜだろう”と感じる個性、そこから発展させた解決への想像力などから自然に示されます。

最初に伝わってほしいのは、この知的好奇心や独自の発想です。その挑戦課題をなぜ思いついたのか、それはあなたにとってどんな価値や喜びを与えてくれるのか、そしてどこまで皆さん自身で解決しようとしているのか、皆さんの個性と独創性が浮かび上がってくる事が見る者の理解を助けてくれます。

さて、皆さんの独創的なアイデアは、実践に移すことで探究活動が展開していきますね(添付のチャートを参照ください)。応募の内容はどの段階にあるものでしょうか。皆さんの段階に対応した観点を次に示しますので、それをご覧になると、それぞれの段階での評価の対象への切り口が思い浮かぶでしょう。

- A 「アイデア」段階： 斬新なアイデアを思いついて、それが創造的なものと確信した段階
- B 「予備的な成果」が得られている段階： アイデアを実践に移して見込みが得られている段階
- C 「研究成果」が得られた段階： いわゆる研究成果発表としてアピールする段階

新規性 Novelty and Originality

A、B、C

既存の課題であっても全く新しい課題の場合であっても、最終到達しようとしている目標点とそこに至る過程、それにチャレンジするアプローチ方法などに、皆さん独自の斬新な個性が明らかになると、とてもエキサイティングですね。

先見性をもって挑戦課題を選び、解決しようとチャレンジすることは、社会に大きなインパクトを与えることに繋がりますし、自然に周りからの支援も集まってきます。

創造性 Creativity

A、B、C

皆さんの個性は、斬新なアイデアによる独創的な解決手法に反映されます。失敗を繰り返しても、着実に解決に向かって前進するアプローチは創造性に満ちているはずで、皆さんには個性的なアイデアを数多く紡ぎだしていただきたいのですが、その時に周りを取り巻く価値観にとらわれ過ぎる必要はありません。アイデアを思いついて実現しようとするときに、個性を大事にしてください。

★アイデア提案の場合にはここまでが必要条件ですが、引き続きポイントも考えてみてください。

実現性 Feasibility

B、C

皆さんが斬新なアイデアを研究に展開する場合には、一定の結果が出るごとに、自分のアイデアが正しかったことを示しているか、次に何を示せばよいか計画し、できることとできないことをじっくり考え、誰でも納得できるように説明することが大事です。

アイデアが実現されていれば素晴らしいですし、たとえ最終的な結論が得られていなくても、予備的な成果を示すことで、夢の実現性が客観的に評価してもらえるようになります。アイデアを実現する作業は現在進行形であっても貴重なものですから、どこを目標にするかを決め、計画し、次の課題にチャレンジし続けてください。

★予備的な成果を発表するときには、ここも考えておいてください。完成された研究成果発表の場合には、引き続きポイントを意識してまとめてください。

実現した場合の実用性 Usability Value

C

皆さんが成果に至る過程に加えて、その成果の価値を説明していただきましたが、当初の課題設定の先見性からは、社会に与える効果について、大きな夢をイメージしているでしょう。

なお、研究成果や目的と社会経済活動（＝ビジネス）の関係は、現時点では必ずしも突き詰める必要はありません。

実現するまでに必要な過程 Future Prospect

◎

皆さんの研究が一定の完成を見たものである場合には、それが最終成果物そのものなのか、さらに完成品までに必要な過程があるのかを示しましょう。社会で受け入れられてその価値が認められるときには、製品になり人々の生活で便利に使われるかもしれません。研究をさらに進めるときには、誰に後を託すのか、どのような形で終わるのかも、考えてあるとよいでしょう。

学術成果としての受容性・発展性 Academic Value

▲、●、◎

★この項目は評価者のみが判断する観点ですので、あくまで参考にしてください。

とてつもない宝石の原石を拾った生徒は、自分なりの仕上げ方で磨いています。そんなアイデア・研究成果には、本人の気づいていない計り知れない価値がある事があります。その気づきは Science Edge の専門家が助けてくれるかもしれません。